

**インニングの残りでの得点分布・野球データを確率変数として処理する**

ランナー無しでノーアウト，1アウト，2アウトの状況で，バッターが立ったとき，そのインニングの残りの攻撃で入った点数を分類して，割合に換算している。

(一方のチームが3つアウトと取られるまで攻撃(バッティング)を行い，他方のチームは守備を行う。1つのインニングは6つのアウト，各チームに3つずつのアウトから構成される。先攻チームは常にインニングの最初である「表」に攻撃を行い，後攻チームは常に「裏」に攻撃を行う。ウィキペディア)

状況			得点の分布(=割合)=得点の確率				得点の期待値
埋まった塁	アウトの数	割合	0得点	1得点	2得点	3得点以上	
なし	0	24.3%	0.747	0.136	0.068	0.049 (1)	0.461
	1	17.3%	0.855	0.085	0.039	0.021	0.243
	2	13.7%	0.933	0.042	0.018	0.007	0.102
1	0	6.4%	0.604	0.166	0.127	0.103	0.813
.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
満塁	2	1.0%	0.671	0.092	0.102	0.135	0.823

Albert.J&Bennett.J,2003,Curve Ball,Springer-Verlag

① 状況の見方について，ランナー無しでアウトカウントがゼロでバッターが立った状態。たとえば，1回の表・先攻の先頭バッターからの攻撃，1回の裏・後攻の先頭バッターの攻撃からの状況。ゲームが9回の表で決着がついた場合， $9 + 8 = 17$ 回と，この状況は結構多い。バッターが始めて立っている状況は24.3%。攻撃のためにバッターが打席に立つ状況は，順番に，

- ランナー無しでアウトカウントが0でバッターが立った状態。24.3%
- ランナー無しでアウトカウントが1でバッターが立った状態。17.3%
- ランナー無しでアウトカウントが2でバッターが立った状態。13.7%
- ランナー1塁でアウトカウントが0でバッターが立った状態。6.4%
- ランナー1塁でアウトカウントが1でバッターが立った状態。7.6%
- ランナー1塁でアウトカウントが2でバッターが立った状態。7.8%
- .....
- ランナー満塁でアウトカウントが2でバッターが立った状態。1.0%

②ランナー無しでアウトカウントがゼロで，バッターがたつた状態からそのインニングの攻撃について，3アウトを取られるまで，に獲得した点数とその状況における割合を(1)はあらわしている。つまり，

ランナー無しでアウトカウントがゼロでバッターが立った状態。たとえば，1回の表・先攻の先頭バッターからの攻撃，1回の裏・後攻の先頭バッターの攻撃からの状況から攻撃が始まったとすると，そのインニングで，

- 0点に終わったのは， 過去の全試合のデータから， 74.7%
- 1点獲得で攻撃が終わったのは， 過去の全試合のデータから， 13.6%
- 2点獲得で攻撃が終わったのは， 過去の全試合のデータから， 6.8%
- 3点以上獲得で攻撃が終わったのは， 過去の全試合のデータから， 4.9%

0.747 0.136 0.068 0.049 これは、過去の試合からのデータ・分布

↓・・・点数  $X$  は、でたらめに発生した確率変数と考える

各  $x$ (点数) に対応する確率の組み合わせは、

0点 :  $X_1$     1点 :  $X_2$     2点 :  $X_3$     3点以上 :  $X_4$

0.747 :  $P_1$     0.136 :  $P_2$     0.068 :  $P_3$     0.049 :  $P_4$

この結果、確率変数の性質から期待値を計算することができる。

そのイニングの残りで見込まれる得点数の期待値は、

定義 期待値 = (発生しうること) × (その確率) =  $X_1 \times P_1 + X_2 \times P_2 + \dots + X_n \times P_n$

(例-1)

ランナー無しでアウトカウントがゼロでバッターが立った状態。たとえば、1回の表・先攻の先頭バッターからの攻撃、1回の裏・後攻の先頭バッターの攻撃からの状況から攻撃が始まったとすると、**そのイニング終了時で期待される得点は、**

ランナー無しアウトカウントゼロで始まる攻撃で最終的に得られる得点の期待値 =

0点で終わる期待値 + 1点獲得する期待値 + 2点獲得する期待値 + 3点(以上)獲得する期待値 =

$$X_1 \times P_1 + X_2 \times P_2 + X_3 \times P_3 + X_4 \times P_4 =$$

$$0 \times 0.747 + 1 \times 0.136 + 2 \times 0.068 + \underline{3} \times 0.049 = \underline{0.461 \text{ 点}} \quad (\text{注意・3点以上は3点だけで計算})$$

(例-2)

ランナー満塁・アウトカウントが2でバッターが立った状態。

0点で終わる期待値 + 1点獲得する期待値 + 2点獲得する期待値 + 3点(以上)獲得する期待値 =

$$X_1 \times P_1 + X_2 \times P_2 + X_3 \times P_3 + X_4 \times P_4 =$$

$$0 \times 0.604 + 1 \times 0.092 + 2 \times 0.102 + \underline{3} \times 0.135 = \underline{0.823 \text{ 点}}$$

ランナー1塁・アウトカウントが0でバッターが立った状態。

$$0 \times 0.671 + 1 \times 0.166 + 2 \times 0.127 + \underline{3} \times 0.103 = \underline{0.813 \text{ 点}}$$

すべての埋まった塁とアウトの組み合わせについて、そのイニングの残りで見込まれる得点数の期待値 を表にまとめると、

得点見込み表

アウト数	埋まった塁						
	なし	一塁	二塁	三塁	一・二塁	・・・	満塁
0	0.461	0.813	1.194	1.390	1.471		2.220
1	0.243	0.536	0.671	0.980	0.939		1.642
2	0.102	0.219	0.297	0.335	0.403		0.823

Albert.J&Bennett.J,2003,Curve Ball,Springer-Verlag

作戦・ランナー1塁・アウトカウントが0でバッターが立った状態。盗塁はすべきか、根拠は。